

近況報告 ～3期生～

世話人挨拶 3期生より同窓生の皆さまへ

「25年医師をやってきて良かったこと・いい思い出」

国立療養所沖縄愛楽園 副園長 野村 謙

琉大医学科の新しい歴史の扉を開いた1期生、固い結束の2期生、さて我が3期生は？

上級生に比べて個性が薄かった（？）三男坊は、卒後25年を経ていい感じのつながりを持っています。学生時代を共に過ごした日々はわずか6年でしたが、追試再試の嵐を血と汗と涙を流し、共に闘った同期はいいものです。（笑）

学生時代、勉強部屋と称して『あそこの部屋』なるアパートの一室を同期10数名で借りていました。たくさんの思い出があります。メンバーのひとり、同窓会会長の蔵下要君から今回の企画のとりまとめを依頼されました。「これはやるしかないだろ～っ！」ということで、毎年恒例の三期生新年会やメーリングリストでテーマについての意見を出し合いました。その結果、「同窓生、特にこれから1人前になっていく25年から30年も後輩の若い皆さまにまで、先輩の私達から医師の仕事にまつわるポジティブな面を伝えよう。」ということになりました。テーマは『25年、医師をやってきて良かったこと・いい思い出』に決定し、「思い出に残る出来事」、「忘れられない患者さん」、「こんな事があるから医師が続けられるんだよな～」などを書いてもらうこととしました。

では、ここに実行委員（我喜屋出・新里敬・野村謙・樋口大介・富名腰義裕）をはじめ、三期生が自信を持ってお勧めする力作9編をお届けします。どうぞお楽しみくださいませ。読み終えたあと、特に若い皆さんが未来の自分に思いを馳せ「医師っていいなあ」と感じていただければ幸いです。



今年の3期生新年会記念写真より